

# 文化財だより 第254号

磐田市スポーツ文化観光部文化財課 令和8年5月1日発行

- 兜塚古墳が東海地方最大級の  
円墳であることが明らかに！ P1～2
- 歴史文書館平常展 . . . . . P3
- 旧見付学校「昔の授業体験」参加者受付中！ P4
- コラム『磐田からのお土産話』室内美香 . . . P4

かぶとづか

## 兜塚古墳が東海地方最大級の 円墳であることが明らかに！



兜塚古墳空中写真（南東側上空から撮影）



墳丘（南から）

磐田市見付・一言にある、かぶと塚公園内の総合体育館横の小山が兜塚古墳であることはご存知ですか。文化財課では、昨年度、古墳の測量調査や出土遺物の再整理作業等をおこない、これまでの調査をまとめた総合報告書を刊行しました。

今回、測量調査を基に築造時の兜塚古墳の姿を復元したところ、直径約84mの円墳であったことが明らかになりました。本来の高さは8m程度であったと考えられます。名古屋市はちまんやまの国史跡・八幡山古墳と並び、円墳としては東海地方最大級の規模を誇ります。出土した埴輪等から、古墳時代中期せんよう前葉（およそ1600年前）に築造されたと考えられます。この時期の古墳としては、遠江地方で最も大きいことから、被葬者はヤマト政権から認められた実力者であったのでしょう。

### 埋蔵文化財センタートピック展示 いわたの大首長・兜塚古墳

5月2日（土）～7月26日（日）まで、兜塚古墳から見つかった遺物を展示します。出土遺物を通し、磐田原台地に君臨していた大首長の姿に想いを馳せてみませんか。

- 場所 磐田市埋蔵文化財センター  
トピック展示コーナー（磐田市見付 3678-1）
- 期間 5月2日（土）～7月26日（日）※祝日休館
- 時間 8時30分～17時（入場無料）



## 古墳名の由来は？

兜塚古墳は、江戸時代後期には名所として知られていました。享和3年（1803）に、文化人として知られていた、掛川宿の藤長庚とうちょうこうがあらわした『遠江古跡図絵』こせきでも紹介されています。この本では、徳川軍と武田軍の一言坂の戦いの際に、兜塚古墳の近くで本多平八郎忠勝が兜を脱ぎ捨てて奮戦したことが名称の由来になった、とも伝えられています。

## 戦中、戦後のできごと

兜塚周辺一帯には、戦時中に陸軍第一航空軍情報連隊（中部第129部隊）が置かれ、古墳のすぐ南側に本部が設置されました。また、墳丘上には鉄塔が建てられ監視所となっていました。頂上部には、その時の基礎の可能性のあるコンクリートが残されています。さらに、塹壕ざんごうが掘削された際、銅鏡をはじめとする副葬品が見つかりました。この時は埋葬施設に係る石材や粘土は確認されなかったようで、遺体を納めた木棺を直接地中に埋めたものと考えられます。

戦後は、昭和22年に県立静岡農林専門学校が、昭和26年に静岡大学農学部が設立されると、兜塚古墳の墳丘の一部に学生会館が建てられました（現在は撤去）。農学部が静岡市へ移転した後、磐田市かぶと塚公園の設置に伴い、公園の一角に保存され、現在に至ります。

## 豪華な副葬品

副葬品には、銅鏡1面、勾玉まがたまや棗玉なつめだま、管玉といった玉類が計50点、鉄刀2振以上が見られます。これらの内、銅鏡の裏面には中国の伝説上の神と霊獣れいじゅうが3体ずつ表現されています。中国製ではなく、日本国内で作られた鏡ですが、大型品で、現在の近畿地方を中心とするヤマト政権より手に入れたものと考えられます。

また、勾玉には碧玉へきぎよく製のものが含まれ、身分の高さをうかがわせます。また、昭和54年の第1次発掘調査を皮切りに、5度の発掘調査がおこなわれ、古墳の外側の墳丘を取り巻く周溝が見つっています。周溝からは円筒埴輪片が出土しています。



三神三獣鏡（径 20.1 cm）



勾玉・管玉・ガラス玉（勾玉の長さ 3.5 cm）

## 磐田原の大首長

兜塚古墳は、磐田原台地西南部の中泉丘陵の付け根部分の最高所に位置しており、被葬者は丘陵一帯を基盤としていた人物と考えられます。今では埋め立てられて見られませんが、遠州灘とつながっていた今之浦低地帯に広がる潟湖（ラグーン、奈良時代には「大の浦」と呼ばれた）を望める立地でもあることから、大の浦周辺の水運を支配した大首長であったのでしょう。

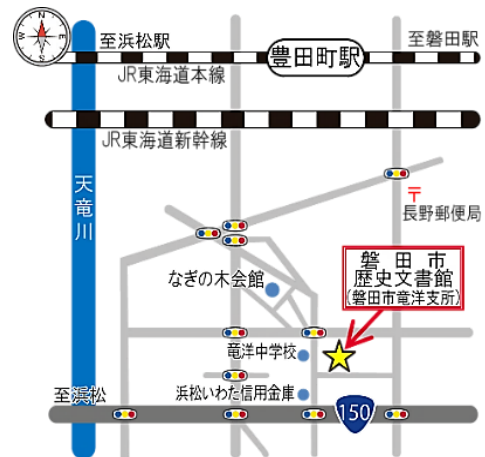
開催中

# 歴史文書館平常展 懐かしの小学校 ～昭和の終わり～

現在、歴史文書館の1階で「昭和の終わり頃の小学校」をテーマにした展示を開催しています。ぜひ、ご覧ください。

**9月30日(水)まで**

- 休館日 土曜日・日曜日・祝日
- 開館時間 9時～17時  
(入館は16時30分まで/入場無料)
- 会場 磐田市歴史文書館1階展示コーナー  
(磐田市岡 729-1/磐田市竜洋支所内)



## みどころ①懐かしの校舎

昭和40年代～昭和60年代の小学校校舎の写真を展示しています。

平成27年に閉校した豊岡東小学校を含む市内23校の小学校を網羅しています。

小学校の開校を特集した広報誌もありますので、ぜひあわせてお楽しみください。



開校当時(昭和58年)の豊田東小学校

## みどころ②行事の様子

春の遠足や水泳大会、運動会など四季折々の学校行事の様子をおさめた写真も展示しています。

また、教室で実際に使われていた机と椅子も展示しています。椅子に座ることも出来ますので、ぜひ展示会場で体験してみてください。



昭和63年に竜洋北小で開催した運動会の様子

昔の写真、収集中!



歴史文書館では市内の風景・行事・災害などの様子がわかる写真を収集しています。写真をお持ちで、寄贈・複製または公開を許可していただける方は、歴史文書館へご連絡ください。

※受け入れは、当館職員の判断となります。

- 募集内容 ●市内で撮影された写真でおおよその撮影年や場所がわかるもの
- 連絡先 ●磐田市歴史文書館 電話 0538-66-9112

# 旧見付学校「昔の授業体験」参加者受付中！



かすりの着物を着て、明治時代の小学生になった気分で昔の授業を体験してみませんか。当日は、現在の国語や音楽、体育にあたる授業のほか、竹馬や竹トンボなど昔の遊びを予定しています。

令和8年6月13日（土）

9時30分～11時30分

ところ：旧見付学校（見付 2452-1）

対象：小学生

定員：30人（先着順）

参加費：500円

申込：5月24日（日）までに、電子申請または直接、旧見付学校（月曜、祝日の翌日休館 TEL0538-32-4511）へ



電子申請



昨年度の様子

## 職員リレー コラム

### 磐田からのお土産話

室内 美香

私は旅に出るのが好きですが、旅をした人の「お土産話」や他地域から来た方の出身地の話をきくのも好きです。知らない土地の知らない言葉、風景、食べ物、におい、建物、文化の違いを見聞きすると心躍ります。

磐田市も興味深いまちです。気候は温暖で（冬は遠州の空っ風に悩まされますが、、、）、海と川と山に囲まれ自然の恵み豊かです。製造業も盛んで世界的な企業がいくつもあります。

一方、歴史を見ると旧石器時代から人々の営みがみられ、近世に至るまで遠江の政治経済宗教の中心地でした。天竜川の水運や東海道によって、多くの人や文化が行き交った地域です。明治8年に開校した旧見付学校のたたずまいは地域の人々の近代教育への強い熱意を表しています。

磐田は古い歴史と最新テクノロジーが同居しているようなまちともいえるでしょう。

文化財課は令和8年4月から「スポーツ文化観光部」に属することになりました。これからも磐田の歴史文化に興味を持って体感していただけるよう、そして訪れた方が「お土産話」をたくさんできるよう「文化財だより」や「Instagram」で歴史情報をお届けしています。今後ともご愛読よろしく申し上げます。



**編集** 編集を10年担当してきましたが、今月号で  
**集** 最後の編集となりました。文化財だよりは  
**後** 今後も続きますので、引き続きよろしくお  
**記** 願いします。ありがとうございました！

発行：磐田市スポーツ文化観光部  
文化財課（磐田市埋蔵文化財センター）  
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1  
電話：0538-32-9699

◆WEB版は市HPから閲覧できます。 [磐田 文化財だより](#) [検索](#)

